

企業の環境に対する取り組みアンケート結果 2010年

(社)神奈川県経営者協会環境委員会

【調査要領】 調査対象：会員 403事業所
調査時期：2010年5月末～6月中旬

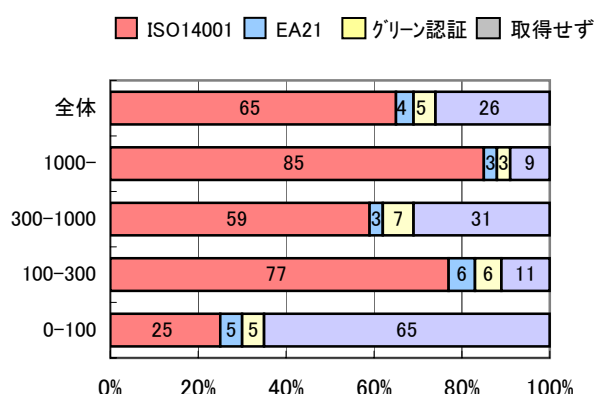
調査方法：FAXによるアンケート
回答数：106事業所（回答率26.3%）
[内訳] 大企業 68 / 中小企業 38

1. 環境マネジメントシステムの取得状況について

回答のあった106事業所のうち、ISO14001が65%、中小企業向けのエコアクション21が4%、輸送業者向けのグリーン認証が5%となり、全体の74%の事業所がいずれかの環境マネジメントシステムに取り組んでいる。

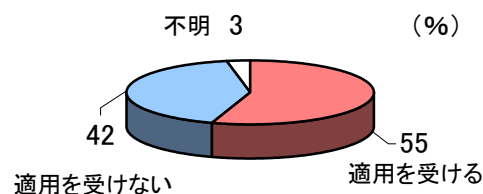
規模別には、従業員1,000人以上は91%、100人以下では35%となり、規模による差がはっきり出ている。中小企業の底上げが必要である。

環境マネジメントシステムに取り組んでいる事業所とは「取得済み」と「取得計画中」を合わせた事業所



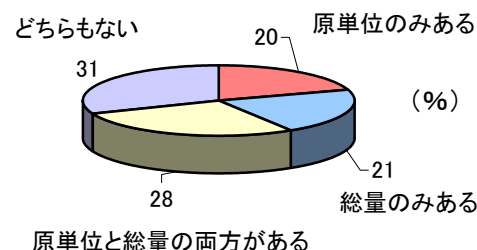
2. CO2削減のための計画書制度の適用について

本年4月1日より、神奈川県・横浜市・川崎市の条例によるCO2削減の計画書制度が開始され、初年度は11月末までの届出が義務付けられたが、今回の回答事業所のうち55%がその適用を受けると答えている。



3. CO2削減目標

削減目標として、原単位のみ設定している事業所が20%、総量のみ設定している事業所が21%、原単位と総量の両方を設定している事業所が28%あった。全体の69%が何らかの形でCO2削減目標を設定している。なお、目標を設定していない事業所は31%。

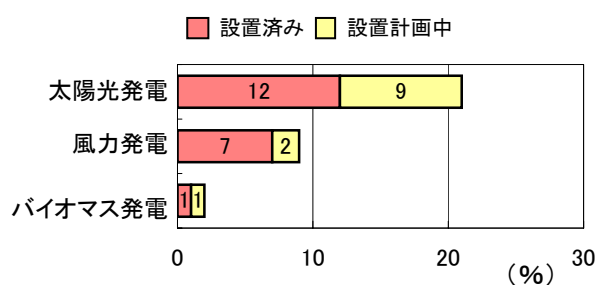


4. 新エネルギーへの取り組み

太陽光発電を既に設置している事業所が12%あり、計画中の事業所が9%ある（規模は最大450kw～1kw未満まで）。

一方、風力発電を既に設置している事業所は7%、計画中の事業所が2%あった（規模は最大2400kw～1kw未満まで）。

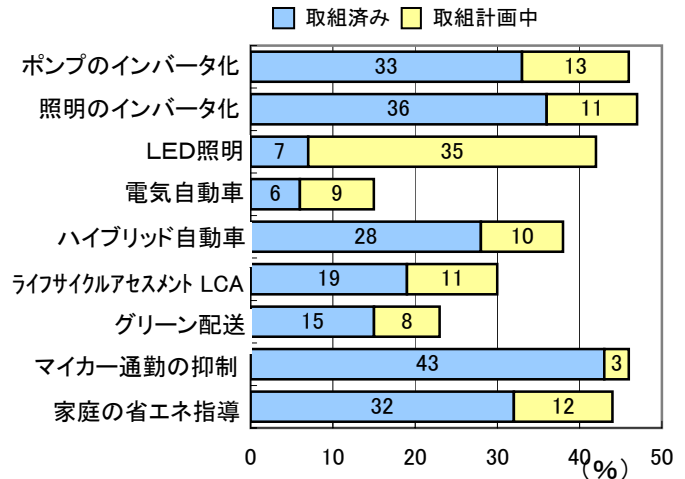
また、バイオマス発電を設置した事業所が1事業所、計画中の事業所が1事業所（12,000kw）ある。



5. 省エネルギーへの取り組み

取り組み済みと計画を合わせると、照明のインバーター化が47%と最も進んでおり、LED照明への切り替え42%も同時に進行している。また、ポンプのインバーター化も46%の事業所が取り組んでいる。

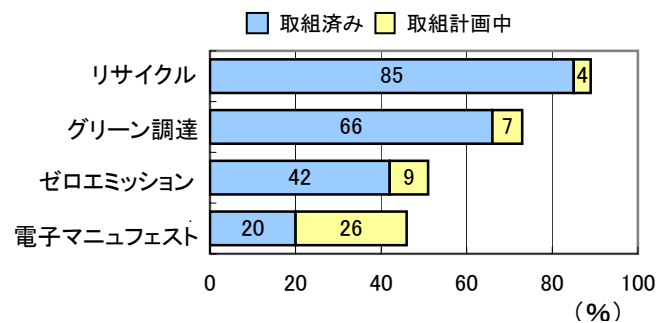
駐車場の問題とも関連し、46%がマイカー通勤を抑制しており、家庭における省エネを44%の事業所が指導している。



6. 省資源・不法投棄への取り組み

取り組み済みと計画を合わせると、リサイクルが89%、グリーン調達73%、ゼロエミッションが51%の順となっている。

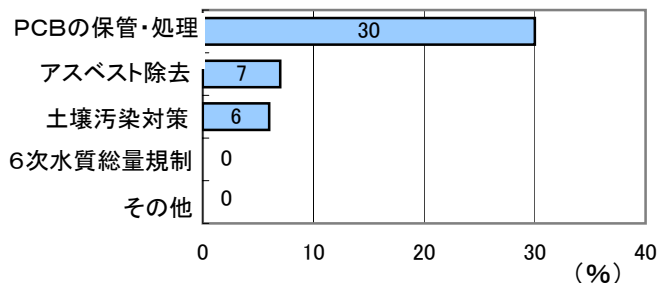
不法投棄への取り組みとして、電子マネーフエストは導入済みが20%に対し、計画が26%あり急激に取り組みが加速している。



7. 現在困っていること

回答した106事業所のうち30% (32事業所) がPCBを保管しており処理に困っている。県の計画では、平成18年4月から処理が開始される計画であったが大幅に遅れており、県へ改善を要望する必要がある。

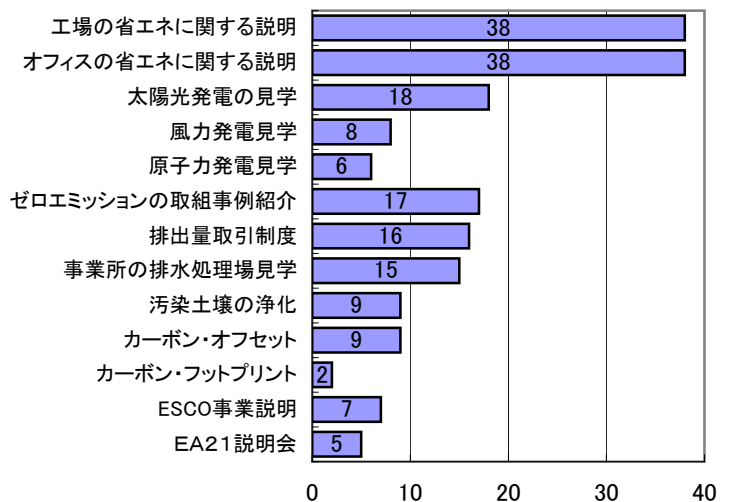
次いでアスベストの除去が7%、土壌汚染対策が6%。第6次東京湾総量規制に関する窒素とリンの排水規制強化が昨年4月より施行されているが、この影響は出ていない。



8. 環境委員会・研究会への要望

最も多い要望は、工場の省エネに関する説明38%と、オフィスの省エネに関する説明38%である。地球温暖化防止とコスト削減を支援する為に、要望に合わせた事例紹介や見学会を実施していく必要がある。

次いで、ゼロエミッションの取り組み事例紹介17%、排出量取引 (②実施済み) 16%、事業所の排水処理施設見学15%の要望が出ている。



以上